

本県育成のオリジナル品種保護のための品種識別技術の確立と

ウイルスフリー優良苗の作出試験

－オウトウ新品種「ジュノハート（青森3号）」を識別する DNA マーカーの探索－

Protection of original crop cultivars in Aomori by DNA markers and virus-free techniques

-Discriminative DNA markers for a cherry new variety "Juno Heart" -

五十嵐 恵・初山慶道・久保 隆*・荒井 茂充*

(*りんご研究所県南果樹部)

青森県が開発したオウトウ新品種「ジュノハート（青森3号）」は、大玉、高品質、高糖度であり、青森県の新しいブランド品種となることが期待されている。有力なオリジナル品種は、ブランドとして将来の県農業を支えていくものであるが、過去には他県の有力品種が無断で海外に持ち出され、逆輸入の寸前で阻止するなどの事例が発生した。オウトウについては山形県及び果樹研が開発した DNA 分析による品種識別が既に確立されているが、本品種は含まれていないため、将来の保護を考えるのであれば育成した本県で識別技術を有しておく必要がある。そこで、本試験においては既報を基準として、「ジュノハート」を識別できる DNA マーカーを特定することにより主要品種との識別を可能にすることを試みた。その結果、オウトウの品種識別最少マーカー 3 種類（BPPCT037、BPPCT039、PMS30）に、オウトウ SSR マーカーである MA020a、BPPCT002、PMS40 のいずれかを加えることで DNA 分析による品種識別が可能であることが分かった。

